



完成模型。豊洲地区（手前）から晴海運河を渡り晴海地区に伸びる高速晴海線（中央）。両側は放射34号線

7時には架設を終えた。設計と製作・架設を含むシステム・横河が担当。大阪・堺工場部材を運び横浜工場を組立（1万4500ト積）の大橋下を通過して所定位置に架設した。併用について、並川部長は「架設を待たずに架設できるため、工期短縮と説明する。」

立ち上げ

（並川部長）基礎工「部工など晴海地区側を架設は豊洲地区側の工事が先行。現在、基礎工まわり、16年にかけて6本上げる予定だ。17年に上部架設に入る。」併用について、並川部長は「5、6径間という間隔が多い。1000級あり、70以下はない。今後とも架設が続く」という。また、送りに架設を伴った交差部分など0カ所で行うほか、ペン吊する。開催時には、選手村と各重要路線。約1・2、安全を最優先に、型や工期短縮などの工夫多種多様な構架設計法が控えている。

でしな。欧米における高層住宅で起る問題を抱えてしまっている。

見れば、空き家は82過去最高を記録し、空13%を超えている。中、新規住宅を供給し続には、集合住宅でも発ある空き家を減らし、好な街並みを形成するめられている。特に、住宅を供給し設・不動産業界の責務今までの単純な新規供給のあり方を自ら考えあてない道を選らない

（降）

調布駅に新たなシンボル



フロントライン

東京都調布市で大成建設が進めていた、調布駅北第1A地区第一種市街地再開発事業の再開発施設が4月10日に竣工した。京王線の連続立体交差事業を契機として、周辺開発が進んでいる調布駅の新たなシンボルとして、にぎわい創出の拠点が誕生した。5月29日の引き渡しを予定している。

再開発施設は1階から3階は商業施設、4階以上は共同住宅となる。駅から徒歩2分という立地条件から120戸の住居部は昨年7月に既に売却しており、今後の発売へ期待の高さが伺える。商業施設には延べ約1600平方メートルの銀行支店を始め、飲食や物販など6店舗が入居する予定だ。

躯体の施工には、少なからず東京五輪開催に伴うインフラ整備や東日本大震災の復興による資材の高騰、労働力不足のおおききを受け、このため施工省力化への対策として、大成建設の猫本泰彦所長は「現場打ちだと現場で配筋すべきことが多くならないので、とにかく手間のかからない施工方法を考えて。その結果、梁の鉄筋については工場で組まれたものを持ってきて、クレーンでセットするという方法を採用した」と話す。また「強度の高い柱と、梁とスラブを同じ日に打たなければいけなく、打ち継ぎの管理が難しくなった」と現場での苦労を振り返る。1字型の敷地に建てられた再開発施設は、低層棟が9階建て、高層棟が15階建てとなつている。このうち低層棟は隣接する調布駅北第1B地区のため、幅が狭まっている。このため、高層棟は直接基礎に低層棟部分に永久アンカーを配して強度を高めることになった。また設備系配管の切り替えも、3階と4階を天井に上棟は、商業施設の自走式駐車場の併設を約4、併せて約4、備している。



住宅階との切り替え階では天井に断熱材を塗布している

永久アンカーで低層棟の耐震性強化

調布駅北第1A地区第一種市街地再開発

平成27年4月28日
建設通信新聞



スケジュールの遅れなく竣工を迎える



6つの店舗が入居予定

概要

- ▷工事名—調布駅北第1A地区第一種市街地再開発事業
- ▷工事場所—調布市小島町1-36-16
- ▷発注者—調布駅北第1A地区市街地再開発組合
- ▷設計—タカハ都市科学研究所
- ▷施工—大成建設
- ▷規模—RC造地下1階地上15階建て延べ1万7,441平方メートル
- ▷主要用途—共同住宅(120戸)、店舗、駐輪場、駐車場、銀行支店、商業施設
- ▷敷地面積—2,090平方メートル
- ▷建築面積—1,590平方メートル

隣接する調布駅北第1B地区は、10年に北第1A地区と事業を分離し、大成建設の設計施工で14年に建築工事に着手。規模はRC・S・SRC造地下1階地上10階建て延べ1万5157平方メートル。地下1階が荷捌き用の駐輪場、1階部分が遊技場施設、2階から10階が駐車場、駐輪場となり、敷地東側にある商業施設「パルコ」の利用者や来街者の利便性を高める。9月の完成を予定している。

CIC日本建設情報センターが解説する

施工管理技士の受験対策

④

今回は具体的な施工管理技士試験の対策から離れ、勉強の取り組み方について触れていきたい。長年、講習会を行っている勉強しているにもかかわらず、なぜか合格できないという受験生を見かける。そこで、そのような受験生に最もよく見られる傾向を挙げていきたい。これは他の試験でも同様のことと言えるので、施工管理技士以外の資格を目指している方もぜひ読んでいただきたい。「復習を溜めてしまった」これは試験直前になれはるほど多数の受験生から寄せられる悩みである。

なぜ合格に到達できないのか

つまり復習をできなかったというもの。「思うように正解できない→復習をやってない→最初から復習をやり直そう」と考える。そこで真面目な受験生ほど、今からでも一からやり直し、一気に挽回しようとする。もちろん、それができればよいが、これは失敗する確率が非常に高い。その時期にあった、勉強のやり方があり、直前期においてこれは誤った方法だろう。したがって、思い切って過去のことは忘れて、最も重要度の高い問題から順に取り組むことがお勧めだ。例えば、まずは重要性が高い施工管理法の過去問を解けるようになることだけに専念する。忘れてし



「試験は結果がすべて、合格する人、しない人

まった項目を思い出すために、テキストの該当箇所を探して読み解き進むので時間がかかるだろう。一問復習するのに通常より時間がかかるかもしれない。しかし、それでも一応その問題を解けるようになる。もし過去に復習しきれていないテキストを読み直すのであれば、数週間かかり、おそらく試験までに問題を解くことにたどり着かず、受験に臨むことになるだろう。過去問を解かなければ、試験本番では大変苦しい。この傾向が自身に当てはまるのであれば、改善する必要があるかもしれない。勉強に対する思考が合格を左右する可能性があることをぜひ覚えておいていただきたい。

(CIC日本建設情報センター 鮎川 洋介)